

全身に広がる歯周病の影響

狭心症・心筋梗塞

心臓の血管に歯周病菌が付着し、その影響で血管が詰まりやすくなる。心臓発作による急死のリスクも増大。

骨粗しょう症

歯周病菌の影響で骨の細胞が破壊されやすくなり、骨粗しょう症になりやすくなる。

そのほかにも…

●肥満

歯周病菌の出す毒素の働きで肝臓に脂肪がたまりやすくなるなど、太りやすくなる。

●早産・低体重児出産

陣痛を早める物質が血液中に増加することで、早産の原因になる。

●がん

歯周病による慢性的な炎症で免疫力が低下し、がんを発症しやすくなる。

脳卒中・認知症

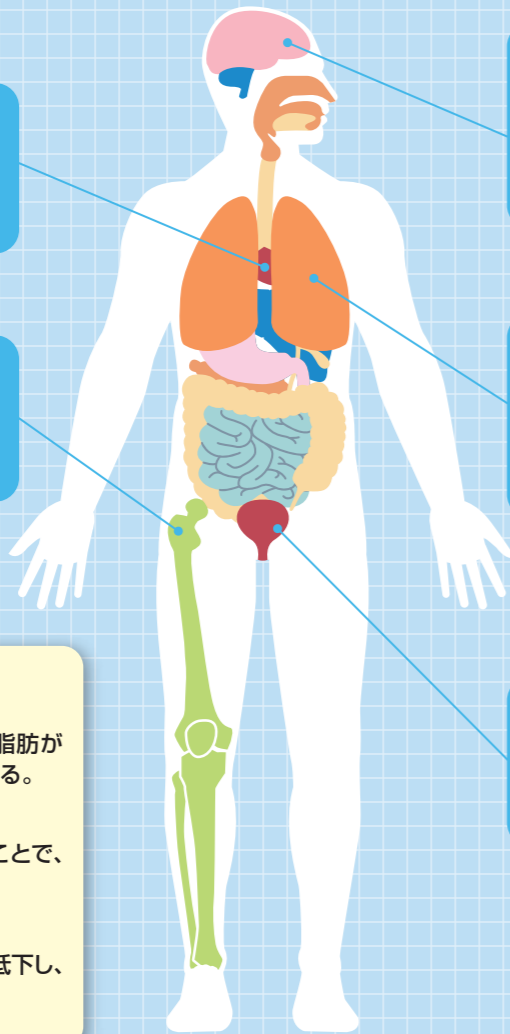
歯周病菌の影響で血管内に血の塊ができやすくなり、脳卒中の原因になる。脳卒中が繰り返されると脳の機能低下で認知症に。

肺炎

口の中の歯周病菌が肺に入り込むことで、肺炎になりやすくなる。免疫力の低い高齢者は特に注意が必要。

糖尿病

インスリンの働きを妨げる物質が放出され、血糖値が下がりにくくなり、糖尿病が悪化する。



歯周病菌が歯茎から侵入



放置すると全身の病気の原因に…

全身に影響するお口の健康

歯周病を口の中だけの病気と思っていませんか。歯周病は歯を失うだけでなく、全身の病気に影響します。全身の健康を守るためにも口の中の健康を保ちましょう。



～タバコは歯周病菌の強い味方～

歯を守るために禁煙を

タバコの煙が最初に通る口は、煙の悪影響を最も受けやすい器官の一つです。タバコのヤニが歯につくと見た目にも美しくないだけでなく、プラーク(歯垢)が落ちにくくなり、歯周病やむし歯が悪化しやすくなります。また、ニコチンなどの影響で歯茎の免疫力が低下し、歯茎が破壊されやすくなります。タバコを吸う人と吸わない人を比べると、10年間に**失われる歯の数が約3倍も多い**という報告もあります。

「健康への悪影響はわかるけど、禁煙は難しい…」という人は、医師に相談して禁煙治療を受けてみてはいかがでしょうか。条件を満たせば健康保険が使えます。



歯周病菌が歯茎から血管へ！
全身に広がる病気リスク

歯周病は口の中の歯周病菌が炎症を引き起こして、歯茎などの歯の周囲の組織を破壊することで歯を失う病気です。それでは口の病気の歯周病が全身の病気に影響するのはなぜでしょうか。

歯周病菌は血液中でもしばらく生きることができる特殊な細菌です。歯周病が進行すると歯茎から歯周病菌が血管の中に侵入し、毒素を出しながら血流に乗って全身に広がります。そうすると体全体で歯周病菌と闘っているような状態になるため、さまざまな病気のリスクが高まり、症状を悪化させる要因となります。

成人の8割に歯周病が…
歯周病予防が人生を守る

歯周病が影響する病気には、動脈硬化による血管の病気、糖尿病、心臓病、骨粗しょう症、がんなど、さまざまなものがあります。その多くは長期的な治療が必要となる生活習慣病です。命に関わる病気もあり、悪化すると自由に活動できなくなったり、好きなものを食べられなくなったり、日常生活に制限を受けてしまいます。

歯周病は成人の8割がかかっているとされ、むし歯と並び歯を失う代表的な病気です。歯を守るためだけでなく、あなたの人生を守るためにも歯周病予防は重要です。予防のためにしっかりと毎日の歯磨きを行ってください。さらに3ヵ月から6ヵ月に1回程度は、歯科医による歯茎のチェックと歯石の除去を受けましょう。